

地域の図書館と連携した「滝中版お届け図書」

兵庫県 加東市立滝野中学校

基本データ

所在地	兵庫県加東市下滝野 761
児童生徒数	349人
教職員数	32人
蔵書数	9,050冊
年間貸出冊数	2,090冊

テーマ・活動のねらい等

【テーマ】公共図書館、地域との連携体制、ネットワークの構築

【活動のねらい】

- 地域の公共図書館と連携して読書環境を充実させ、生徒の読書に対する興味を高める。
- 教室で手軽に本を読める環境を整え、学校図書館の活用へとつなげる。
- 図書委員が選書することで、他の生徒が興味関心を持つ本を選ぶことができたり、当事者意識を持って本の紹介を行ったりする等、委員会活動の活性化につなげる。

取組・活動の概要

- 加東市立滝野図書館に図書委員の生徒が訪問し、本を選び、団体貸出をしてもらう（1学年60冊、合計180冊）。



加東市立滝野図書館で選書する図書委員の様子

- 実施期間は、5～7月、10～12月、1～3月の各学期1回で、3か月毎に定期的に借りる。
- 借りた図書は、朝の読書活動や休み時間に活用できるように、各クラスに配架する。



各クラスに配架された団体貸出の本

- なお、図書は各クラスの図書委員が、学級で紹介する等、読書活動につなげる。

取組・活動の工夫や特徴

- 取組の初年度は、図書館司書と担当の教師とが協力して選書していたが、子ども達がより興味を持てる本を選ぶようにするため、図書委員が直接公立図書館を訪問し、選書する形式に変更して実施している。
- 国語科や委員会活動等において読書の魅力を伝えるとともに、学校図書館の整備を進め、生徒の読書環境の充実を図る。
- そのために、日常的に地域の公共図書館と連携を図り、協力体制を整備しておくがポイントとなる。

取組・活動の成果や今後の展望

- 読書に関するアンケートを1学期末と年度末の2回実施し、生徒の読書に関する状況を把握した。
- 「読書が好きか」「1日、1ヶ月の読書量」「学校図書館利用頻度」の項目について、数値が上がっており、読書に親しむ状況が把握できた。
- 今後も、地域の図書館と連携し生徒の読書環境の充実を進めていく。